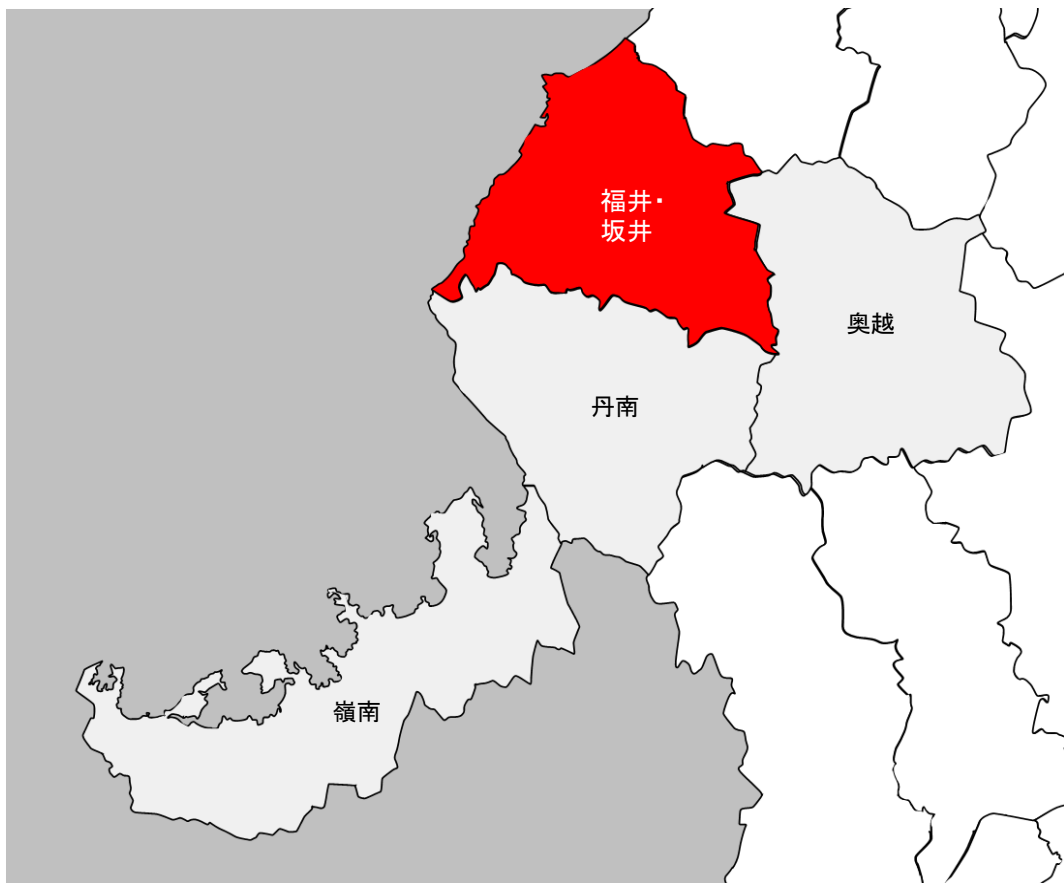


18. 福井県

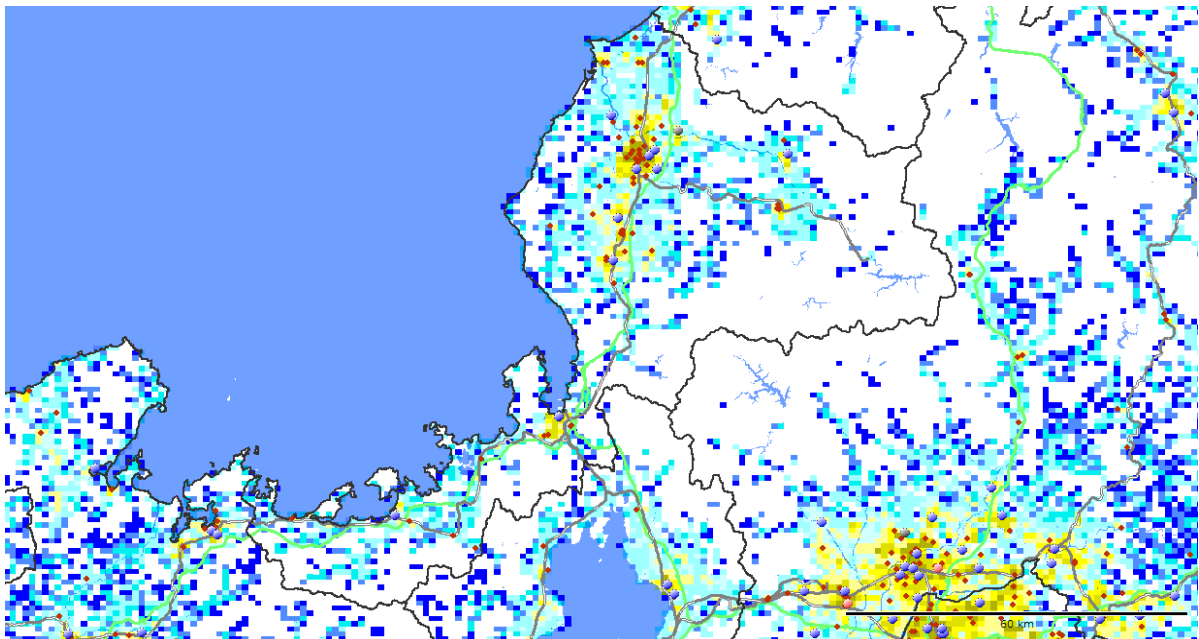


目次

福井県	18 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	18 - 8
1. 福井・坂井医療圏	18 - 20
2. 奥越医療圏	18 - 25
3. 丹南医療圏	18 - 30
4. 嶺南医療圏	18 - 35

18. 福井県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



(福井県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 福井県は、総人口約787千人(2015年)、面積4190km²、人口密度は188人/km²である。

*人口の将来予測： 福井県の総人口は2025年に731千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に633千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の114千人が、2025年にかけて143千人へと増加し(2015年比+25%)、2040年には145千人へと増加する(2025年比+1%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 福井県の一人当たり医療費(国保)は375千円(偏差値57)、介護給付費は286千円(偏差値60)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 福井県の一人当たり急性期医療密度指数²は1.16、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.12で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が50(病院医師数52、診療所医師数44)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は55とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は52と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値54とやや多く、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 福井県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、12154人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が8399床(偏差値60)、高齢者住宅等が3755床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、9970人(75歳以上1000人当たりの偏差値60)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム41、軽費ホーム57、グループホーム47、サ高住52である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値59と多い。介護職員(在宅)の合計は、954人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-9%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

福井県の総人口は、2005年821592人が、2015年に786740人と4%減少し、2025年の人口が731030人と予測され、2005年→2025年の間に11%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

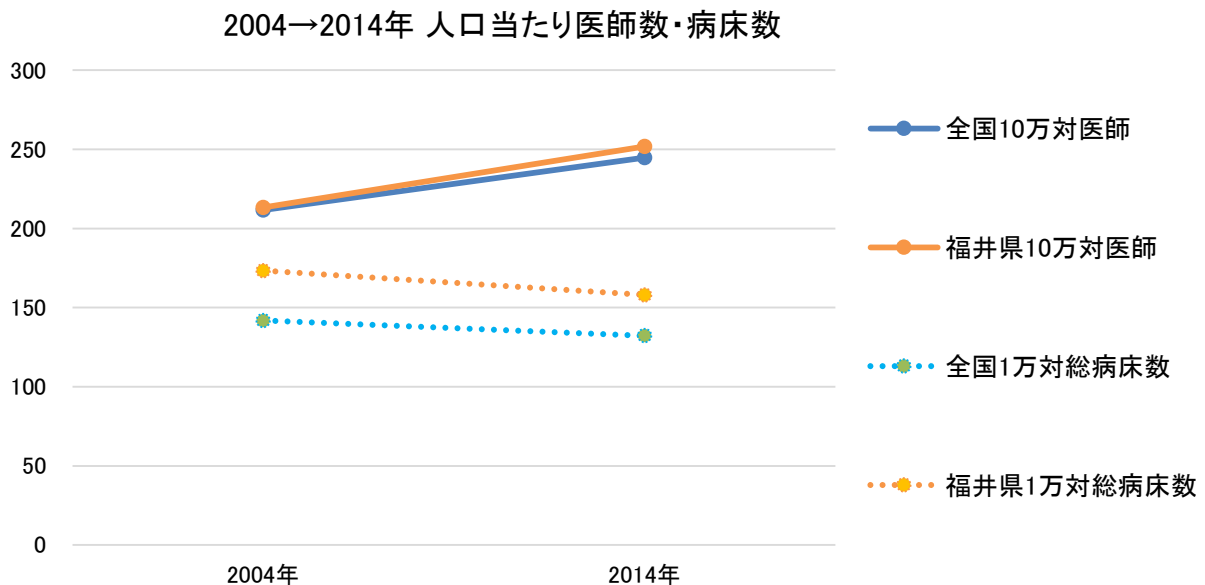
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が88(人口10万人当たり10.7病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2014年に70(人口10万人当たり8.9病院(全国平均6.7)偏差値55)となり、10年間で18病院が減少した。

2004年の診療所数が564(人口10万人当たり69診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2014年に582(人口10万人当たり74診療所(全国平均79)偏差値47)と、18診療所が増加した。

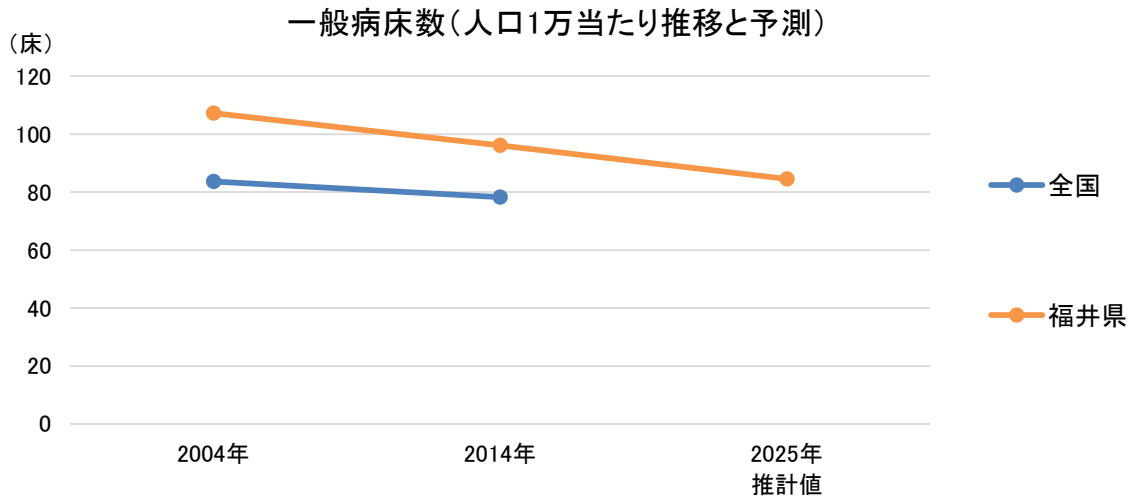
2004年の総病床数が14242床(人口1万人当たり173(全国平均142)偏差値56)であったが、2014年に12431床(人口1万人当たり158(全国平均132)偏差値55)と、1811床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1752人(人口10万人当たり213人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2014年に1982人(人口10万人当たり252人(全国平均245人)偏差値51)と、230人の増加、率にして13%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



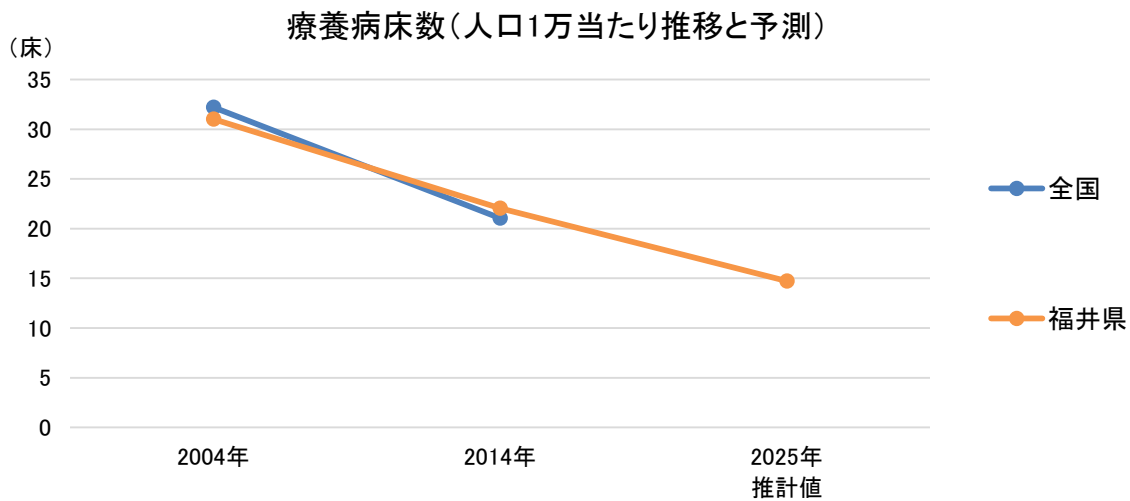
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が8810床(人口1万人当たり107(全国平均84)偏差値58)であったが、2014年に7557床(人口1万人当たり96(全国平均78)偏差値57)と、1253床の減少、率にして14%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には6179床(2025年の推計人口1万人当たり85)になることが予想される。



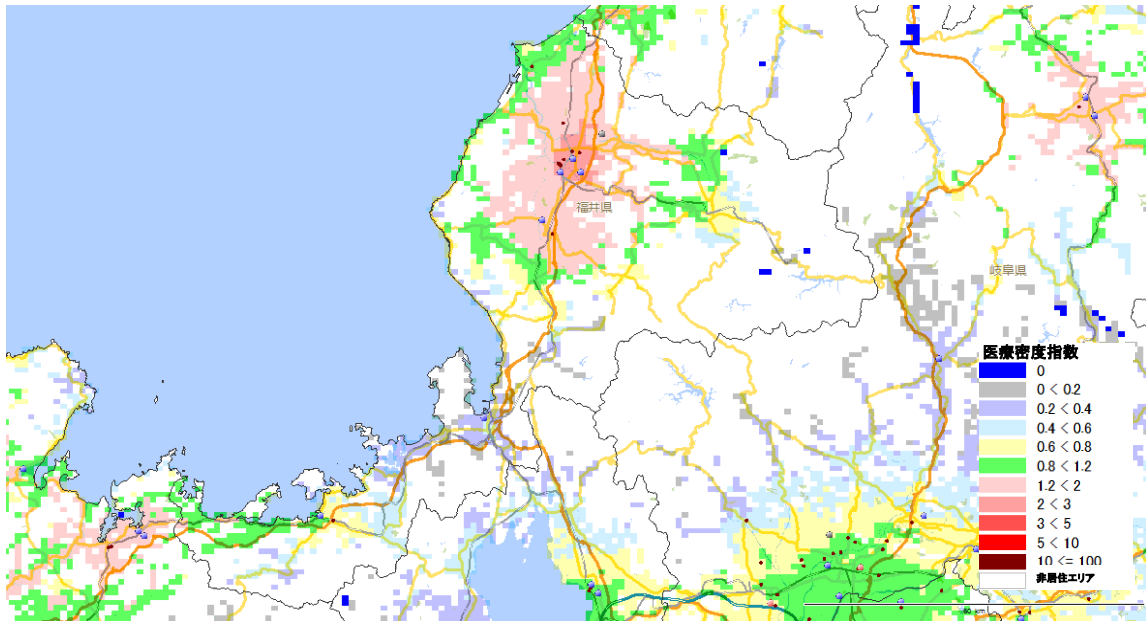
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2883床(75歳以上1000人当たり31(全国平均32)偏差値49)であったが、2014年に2511床(75歳以上1000人当たり22(全国平均21)偏差値51)と、372床の減少、率にして13%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2103床(2025年の推計75歳以上1000人当たり15)になることが予想される。



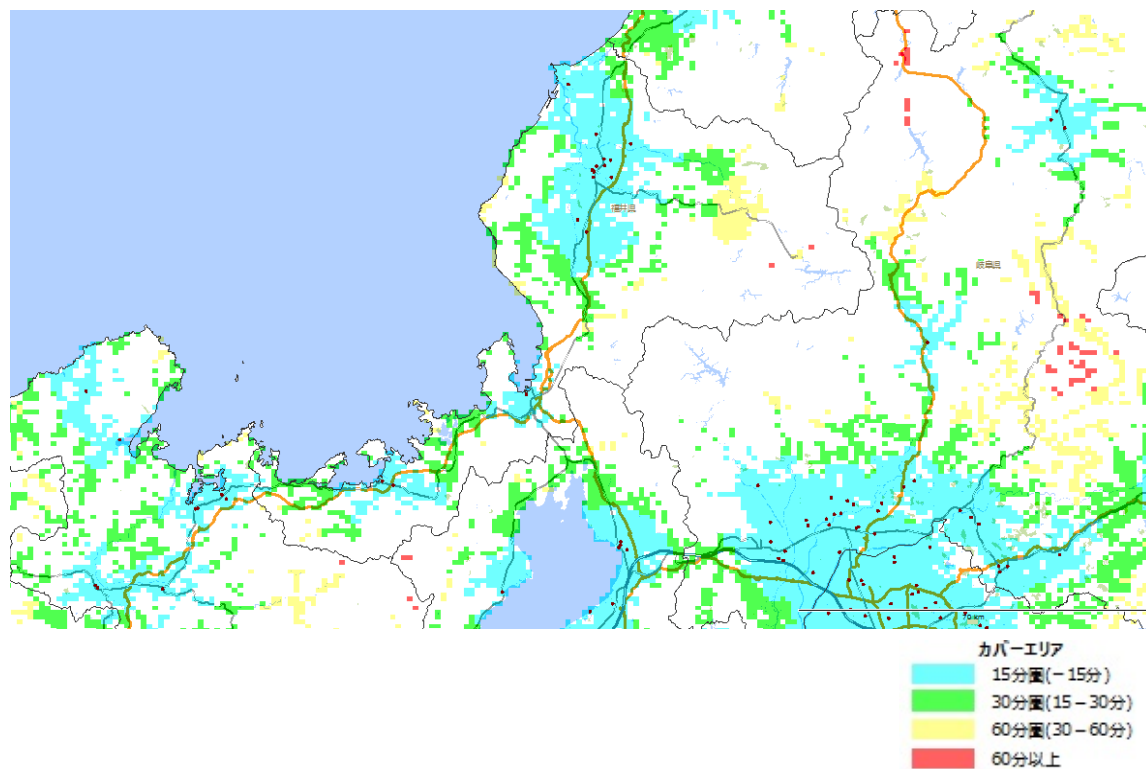
(福井県) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表18-1 急性期医療密度指数マップ



図表18-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

※2017年版では、人口に関わる指標（偏差値等）については、2015年人口に基づいた計算を行っている。

資_図表 18-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		26%	120,700	107,439	16,126	21,775	22,232	-5%	-11%	35%	2%
福井県	787	43位	4,190	34位	187.7		28%	731	633	114	143	145	-7%	-13%	25%	1%
福井・坂井	405	51%	957	23%	422.8	地方都市型	27%	378	331	55	73	76	-7%	-12%	33%	4%
奥越	57	7%	1,126	27%	50.8	過疎地域型	34%	49	38	11	12	11	-14%	-22%	9%	-8%
丹南	185	24%	1,007	24%	183.5	過疎地域型	28%	175	153	27	33	34	-5%	-13%	22%	3%
嶺南	140	18%	1,100	26%	127.2	過疎地域型	29%	129	110	21	25	25	-8%	-15%	19%	0%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月1日															

資_図表 18-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,456,851	1,772,098	-21.6%
福井県	1.16	1.12	10,699	11,617	-8.6%
福井・坂井	1.47	0.56	5,551	5,953	-7.2%
奥越	0.82	1.07	1,003	941	6.2%
丹南	0.93	0.84	2,491	2,706	-8.6%
嶺南	0.75	1.10	1,654	2,017	-22.0%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資_図表 18-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	343	(44)	1.000	131	(30)	1.000	188	(19)	1.000	253	(35)
福井県	375	57	1.032	155	58	1.122	200	56	0.999	286	60
福井・坂井	375	57	1.034	151	57	1.094	203	58	1.016	286	60
奥越	399	62	1.050	160	60	1.105	220	67	1.053	307	65
丹南	369	56	1.013	158	59	1.141	191	52	0.954	277	57
嶺南	374	57	1.030	158	59	1.143	196	54	0.985	289	60
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成27年度介護保険事業状況報告(年報) 平成27年度累計(平成27年3月サービス分から平成28年2月サービス分まで)										

※後期高齢者の医療費については、資_図表18-35を参照。

資_図表 18-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,480		6.7	(4.1)	100,995		79	(18.8)
福井県	70	0.8%	8.9	55	581	0.6%	74	47
福井・坂井	35	50%	8.6	55	338	58%	83	52
奥越	6	9%	10.5	59	34	6%	59	39
丹南	18	26%	9.7	57	109	19%	59	39
嶺南	11	16%	7.9	53	100	17%	71	46
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 18-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,995		79	(18.8)	93,034		73	(18.4)	7,961		6.3	(6.4)
福井県	581	0.6%	74	47	502	0.5%	64	45	79	1.0%	10.0	56
福井・坂井	338	58%	83	52	291	58%	72	49	47	59%	11.6	58
奥越	34	6%	59	39	26	5%	45	35	8	10%	14.0	62
丹南	109	19%	59	39	91	18%	49	37	18	23%	9.7	55
嶺南	100	17%	71	46	94	19%	67	47	6	8%	4.3	47
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 18-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,565,968		1,232	(497)	107,626		85	(101)	1,673,594		1,317	(557)
福井県	11,097	0.7%	1,411	54	1,300	1.2%	165	58	12,397	0.7%	1,576	55
福井・坂井	6,474	58%	1,599	57	776	60%	192	61	7,250	58%	1,791	59
奥越	546	5%	954	44	133	10%	232	65	679	5%	1,186	48
丹南	2,013	18%	1,089	47	295	23%	160	57	2,308	19%	1,249	49
嶺南	2,064	19%	1,475	55	96	7%	69	48	2,160	17%	1,544	54
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 18-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	893,970		703	(227)	328,406		258	(209)	336,282		265	(217)
福井県	6,394	0.7%	813	55	2,342	0.7%	298	52	2,298	0.7%	292	51
福井・坂井	4,157	65%	1,027	64	1,001	43%	247	49	1,284	56%	317	52
奥越	302	5%	528	42	109	5%	190	47	135	6%	236	49
丹南	925	14%	501	41	694	30%	376	56	378	16%	205	47
嶺南	1,010	16%	722	51	538	23%	384	56	501	22%	358	54
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 18-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	73,304		58	(47)	61,433		58	(56)
福井県	417	0.6%	53	49	649	1.1%	82	54
福井・坂井	256	61%	63	51	337	52%	83	54
奥越	41	10%	72	53	0	0%	0	40
丹南	80	19%	43	47	169	26%	91	56
嶺南	40	10%	29	44	143	22%	102	58
出典	平成27年度病床機能報告 平成27年7月				平成29年5月地方厚生局			

資_図表 18-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
福井県	5,370	4,268	265	5,729	2,122	2,077	66.8%	56	11.3%	51
福井・坂井	3,382	2,670	0	3,092	1,487	1,001	64.2%	55	0.0%	46
奥越	199	195	0	347	103	109	65.4%	55	0.0%	46
丹南	440	436	0	1,573	489	694	47.1%	48	0.0%	46
嶺南	1,349	967	265	717	43	273	95.7%	68	49.3%	67
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 18-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
福井県	17,016	0.6%	2,163	49	7,092	0.7%	901	53
福井・坂井	13,848	81%	3,421	62	5,076	72%	1,254	66
奥越	432	3%	755	36	0	0%	0	22
丹南	1,200	7%	649	35	972	14%	526	40
嶺南	1,536	9%	1,098	39	1,044	15%	746	48
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 18-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
福井県	2,117	0.6%	269	50	1,446	0.7%	184	52	671	0.5%	85	44
福井・坂井	1,463	69%	361	60	1,052	73%	260	64	411	61%	102	50
奥越	82	4%	143	35	44	3%	77	36	38	6%	66	38
丹南	280	13%	151	36	160	11%	86	37	120	18%	65	38
嶺南	293	14%	209	43	190	13%	136	45	103	15%	73	40
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 18-12 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.3	(6.5)	12,494		9.8	(4.5)	10,443		8.2	(3.7)
福井県	100	0.6%	12.7	51	75	0.6%	9.5	49	70	0.7%	8.9	52
福井・坂井	76	76%	18.8	60	58	77%	14.3	60	50	71%	12.4	61
奥越	4	4%	7.0	42	2	3%	3.5	36	2	3%	3.5	37
丹南	8	8%	4.3	38	5	7%	2.7	34	10	14%	5.4	42
嶺南	12	12%	8.6	44	10	13%	7.1	44	8	11%	5.7	43
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 18-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.1)	7,466		5.9	(2.5)
福井県	29	0.5%	3.7	48	56	0.6%	7.1	49	64	0.9%	8.1	59
福井・坂井	21	72%	5.2	55	44	79%	10.9	61	44	69%	10.9	70
奥越	2	7%	3.5	47	3	5%	5.2	43	3	5%	5.2	48
丹南	4	14%	2.2	40	6	11%	3.2	37	9	14%	4.9	46
嶺南	2	7%	1.4	37	3	5%	2.1	33	8	13%	5.7	49
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 18-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.0	(6.9)	15,369		12.1	(4.4)
福井県	42	0.5%	5.3	47	146	0.7%	18.6	54	113	0.7%	14.4	55
福井・坂井	28	67%	6.9	51	103	71%	25.4	64	80	71%	19.8	67
奥越	2	5%	3.5	41	6	4%	10.5	42	6	5%	10.5	46
丹南	6	14%	3.2	41	19	13%	10.3	42	13	12%	7.0	39
嶺南	6	14%	4.3	44	18	12%	12.9	45	14	12%	10.0	45
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 18-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.0)	6,376		5.0	(2.3)	5,300		4.2	(2.9)
福井県	44	0.8%	5.6	55	47	0.7%	6.0	54	53	1.0%	6.7	59
福井・坂井	33	75%	8.2	68	33	70%	8.2	63	46	87%	11.4	75
奥越	2	5%	3.5	45	2	4%	3.5	43	1	2%	1.7	42
丹南	4	9%	2.2	39	5	11%	2.7	40	2	4%	1.1	39
嶺南	5	11%	3.6	45	7	15%	5.0	50	4	8%	2.9	45
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 18-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.0)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
福井県	42	0.6%	5.3	51	4	0.3%	0.5	42	26	0.8%	3.3	54
福井・坂井	33	79%	8.2	60	4	100%	1.0	48	22	85%	5.4	67
奥越	1	2%	1.7	39	0	0%	0	37	0	0%	0	35
丹南	2	5%	1.1	36	0	0%	0	37	2	8%	1.1	41
嶺南	6	14%	4.3	47	0	0%	0	37	2	8%	1.4	43
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 18-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
福井県	8	0.4%	1.0	45	14	0.6%	1.8	49
福井・坂井	8	100%	2.0	54	11	79%	2.7	57
奥越	0	0%	0	37	0	0%	0	36
丹南	0	0%	0	37	3	21%	1.6	48
嶺南	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資_図表 18-18 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,114,100		877	(286)	916,998		722	(240)	197,102		155	(73)
福井県	8,074	0.7%	1,026	55	6,622	0.7%	842	55	1,452	0.7%	185	54
福井・坂井	5,198	64%	1,284	64	4,317	65%	1,066	64	881	61%	218	59
奥越	346	4%	604	40	255	4%	446	39	90	6%	158	50
丹南	1,297	16%	702	44	999	15%	541	42	298	20%	161	51
嶺南	1,234	15%	882	50	1,051	16%	751	51	183	13%	131	47
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 18-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	126,125		99	(53)	288,151		227	(91)
福井県	947	0.8%	120	54	1,453	0.5%	185	45
福井・坂井	578	61%	143	58	957	66%	236	51
奥越	45	5%	79	46	79	5%	138	40
丹南	203	21%	110	52	214	15%	116	38
嶺南	121	13%	86	48	203	14%	145	41
出典	平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 18-20 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	13,255		0.8	(0.4)	1,210		0.1	(0.1)	10,420		0.6	(0.2)
福井県	49	0.4%	0.4	41	8	0.7%	0.1	49	94	0.9%	0.8	59
福井・坂井	29	59%	0.5	43	4	50%	0.1	50	45	48%	0.8	58
奥越	4	8%	0.4	40	2	25%	0.2	68	6	6%	0.6	46
丹南	11	22%	0.4	41	2	25%	0.1	50	21	22%	0.8	57
嶺南	5	10%	0.2	36	0	0%	0	38	22	23%	1.0	69
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成29年5月			

資_図表 18-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員 (病床)数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,674,440		104	(17)	992,340		62	(12)	682,100		42	(16)
福井県	12,154	0.7%	107	52	8,399	0.8%	74	60	3,755	0.6%	33	44
福井・坂井	6,550	54%	118	59	4,103	49%	74	60	2,447	65%	44	51
奥越	1,072	9%	101	48	906	11%	85	69	166	4%	16	33
丹南	2,749	23%	104	50	1,948	23%	73	60	801	21%	30	42
嶺南	1,783	15%	84	38	1,442	17%	68	55	341	9%	16	33
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 18-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	364,437		23	(5.8)	563,306		35	(9.7)	64,597		4.0	(4.1)
福井県	3,088	0.8%	27	58	4,827	0.9%	42	58	484	0.7%	4.3	51
福井・坂井	1,361	44%	25	53	2,577	53%	47	62	165	34%	3.0	47
奥越	366	12%	34	70	500	10%	47	62	40	8%	3.8	49
丹南	782	25%	29	62	955	20%	36	51	211	44%	7.9	60
嶺南	579	19%	27	58	795	16%	37	52	68	14%	3.2	48
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 18-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	230,505		14.3	(10.8)	23,117		1.4	(2.1)	195,525		12.1	(5.8)
福井県	477	0.2%	4.2	41	326	1.4%	2.9	57	1,172	0.6%	10.3	47
福井・坂井	340	71%	6.1	42	246	75%	4.4	64	639	55%	11.5	49
奥越	0	0%	0	37	0	0%	0	43	87	7%	8.2	43
丹南	137	29%	5.2	42	80	25%	3.0	57	234	20%	8.8	44
嶺南	0	0%	0	37	0	0%	0	43	212	18%	10.0	46
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 18-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
福井県	1,780	0.8%	15.6	52	325	2.1%	2.9	61	1,455	0.7%	12.8	49
福井・坂井	1,222	69%	22.1	61	223	69%	4.0	68	999	69%	18.0	57
奥越	79	4%	7.4	40	10	3%	0.9	50	69	5%	6.5	40
丹南	350	20%	13.2	48	92	28%	3.5	65	258	18%	9.7	44
嶺南	129	7%	6.1	38	0	0%	0	44	129	9%	6.1	39
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成29年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 18-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
福井県	1,313	0.8%	11.5	55	915	0.8%	8.0	53	398	0.9%	3.5	57
福井・坂井	650	50%	11.7	56	453	50%	8.2	54	197	49%	3.6	57
奥越	114	9%	10.7	52	85	9%	8.0	53	29	7%	2.7	49
丹南	315	24%	11.8	57	235	26%	8.9	57	79	20%	3.0	51
嶺南	235	18%	11.0	53	142	16%	6.7	46	93	23%	4.3	65
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 18-26 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
福井県	10,924	0.7%	96	54	9,970	0.8%	88	60	954	0.4%	8.4	40
福井・坂井	5,547	51%	100	58	5,125	51%	93	64	423	44%	7.6	39
奥越	925	8%	87	47	842	8%	79	52	83	9%	7.8	39
丹南	2,493	23%	94	53	2,300	23%	87	59	193	20%	7.3	38
嶺南	1,959	18%	92	51	1,703	17%	80	53	256	27%	12.0	47
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 18-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		66	(31)	450,441		28	(12)	1,480,879		92	(32)
福井県	3,735	0.3%	33	39	3,858	0.9%	34	55	6,526	0.4%	57	39
福井・坂井	2,172	58%	39	41	1,594	41%	29	51	3,079	47%	56	39
奥越	353	9%	33	39	241	6%	23	46	561	9%	53	38
丹南	721	19%	27	37	906	23%	34	55	1,147	18%	43	35
嶺南	489	13%	23	36	1,117	29%	52	71	1,739	27%	82	47
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 18-28 総人口の推移と医療需要⁸の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	120,699,960	-6%	12%	6%	18%
福井県		821,592	786,740	-4%	731,030	-11%	5%	3%	9%
福井・坂井	地方都市型	413,307	404,796	-2%	377,935	-9%	8%	5%	14%
奥越	過疎地域型	64,804	57,234	-12%	49,295	-24%	-2%	-5%	-7%
丹南	過疎地域型	194,247	184,783	-5%	174,588	-10%	4%	3%	8%
嶺南	過疎地域型	149,234	139,927	-6%	129,212	-13%	3%	0%	3%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,居間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資_図表 18-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
福井県	88	10.7	59	70	8.9	55	-18	-20%	51
福井・坂井	44	10.6	59	35	8.6	55	-9	-20%	25
奥越	7	10.8	60	6	10.5	59	-1	-14%	5
丹南	23	11.8	62	18	9.7	57	-5	-22%	13
嶺南	14	9.4	56	11	7.9	53	-3	-21%	8
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 18-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
福井県	564	69	46	582	74	47	18	3%	602
福井・坂井	316	76	50	337	83	52	21	7%	360
奥越	38	59	41	34	59	40	-4	-11%	30
丹南	110	57	40	109	59	39	-1	-1%	108
嶺南	100	67	46	102	73	47	2	2%	104
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 18-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	245	(94)	40,834	15%	356,135
福井県	1,752	213	50	1,982	252	51	230	13%	2,236
福井・坂井	1,193	289	59	1,429	353	62	236	20%	1,689
奥越	75	116	39	70	122	37	-5	-7%	65
丹南	237	122	39	238	129	38	1	0%	239
嶺南	247	166	45	245	175	43	-2	-1%	243
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 18-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	132	(56)	-131,929	-7%	1,535,514
福井県	14,242	173	56	12,431	158	55	-1,811	-13%	10,439
福井・坂井	8,314	201	61	7,278	180	58	-1,036	-12%	6,138
奥越	849	131	48	679	119	48	-170	-20%	492
丹南	2,748	141	50	2,308	125	49	-440	-16%	1,824
嶺南	2,331	156	53	2,166	155	54	-165	-7%	1,985
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 18-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	78	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
福井県	8,810	107	58	7,557	96	57	-1,253	-14%	6,179	85
福井・坂井	5,428	131	67	4,843	120	65	-585	-11%	4,200	111
奥越	540	83	50	435	76	49	-105	-19%	320	65
丹南	1,440	74	47	1,173	63	45	-267	-19%	879	50
嶺南	1,402	94	54	1,106	79	50	-296	-21%	780	60
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 18-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
福井県	2,883	31	49	2,511	22	51	-372	-13%	2,103	15
福井・坂井	1,469	34	51	1,119	20	49	-350	-24%	734	10
奥越	174	19	42	109	10	41	-65	-37%	38	3
丹南	884	40	54	741	28	56	-143	-16%	584	18
嶺南	356	20	43	542	25	54	186	52%	747	30
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

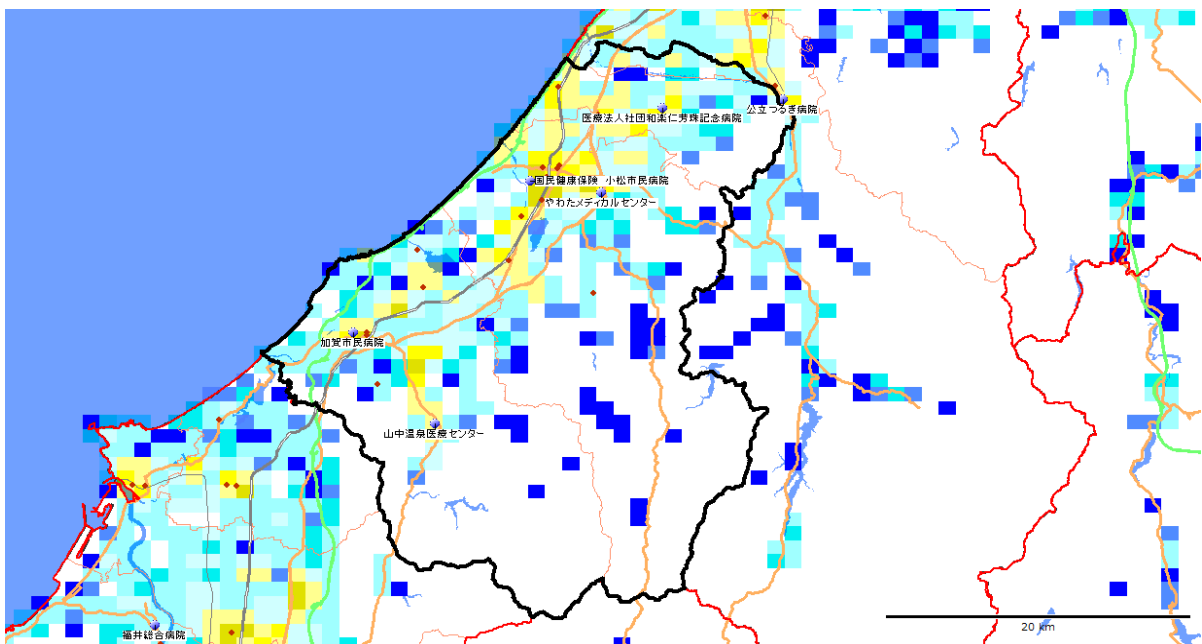
資_図表 18-35 後期高齢者の医療費・地域差指数⁷

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
福井県	912	48	0.969	487	53	1.034	402	41	0.919
福井・坂井	956	52	1.008	504	54	1.068	427	47	0.962
奥越	911	48	0.974	467	51	0.994	425	46	0.981
丹南	852	43	0.907	463	50	0.984	367	32	0.840
嶺南	874	45	0.931	482	52	1.028	372	33	0.852
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

18-1. ふくい さかい 福井・坂井医療圏

構成市区町村⁹ [福井市](#) [あわら市](#) [坂井市](#) [永平寺町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(福井・坂井医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 福井・坂井(福井市)は、総人口約405千人(2015年)、面積957km²、人口密度は423人/km²の地方都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 福井・坂井の総人口は2025年に378千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に331千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の55千人が、2025年にかけて73千人へと増加し(2015年比+33%)、2040年には76千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 福井・坂井の一人当たり医療費(国保)は375千円(偏差値57)、介護給付費は286千円(偏差値60)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 福井・坂井の一人当たり急性期医療密度指数²は1.47、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.56で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療はかなり少ない。
- *医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が60(病院医師数64、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は64と多い。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は64で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は62と多い。福井・坂井には、年間全身麻酔件数が2000例以上の福井県済生会病院(Ⅲ群)、福井県立病院(Ⅲ群・救命)、福井大学医学部附属病院(I群)、1000例以上の福井赤十字病院(Ⅲ群)、500例以上の福井総合病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値58と多く、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 福井・坂井の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6550人(75歳以上1000人当たりの偏差値59)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4103床(偏差値60)、高齢者住宅等が2447床(偏差値51)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5125人(75歳以上1000人当たりの偏差値64)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム62、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム42、軽費ホーム64、グループホーム49、サ高住61である。

- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値43と少なく、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値58と多い。介護職員(在宅)の合計は、423人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。
- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-7%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(福井・坂井医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

福井・坂井医療圏の総人口は、2005年413307人が、2015年に404796人と2%減少し、2025年の人口が377935人と予測され、2005年→2025年の間に9%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

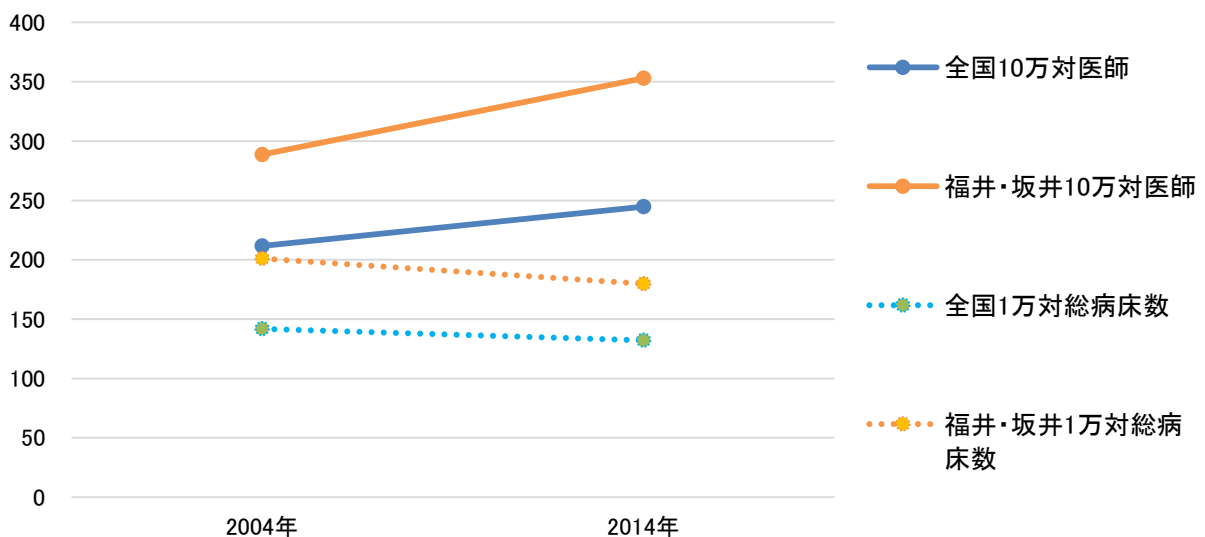
2004年の病院数が44(人口10万人当たり10.6病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2014年に35(人口10万人当たり8.6病院(全国平均6.7)偏差値55)となり、10年間で9病院が減少した。

2004年の診療所数が316(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2014年に337(人口10万人当たり83診療所(全国平均79)偏差値52)と、21診療所が増加した。

2004年の総病床数が8314床(人口1万人当たり201(全国平均142)偏差値61)であったが、2014年に7278床(人口1万人当たり180(全国平均132)偏差値58)と、1036床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

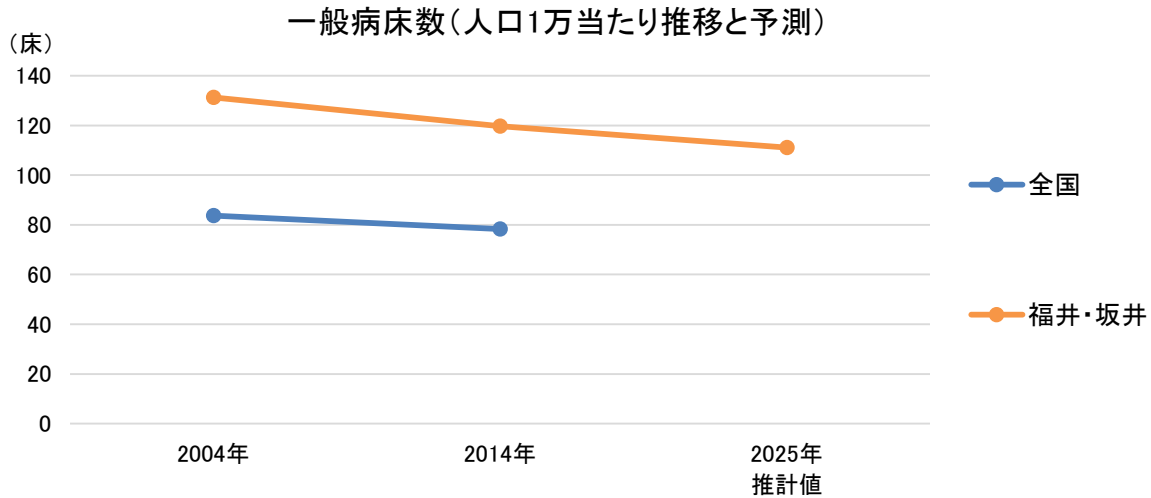
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1193人(人口10万人当たり289人(全国平均212人)偏差値59)であったが、2014年に1429人(人口10万人当たり353人(全国平均245人)偏差値62)と、236人の増加、率にして20%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



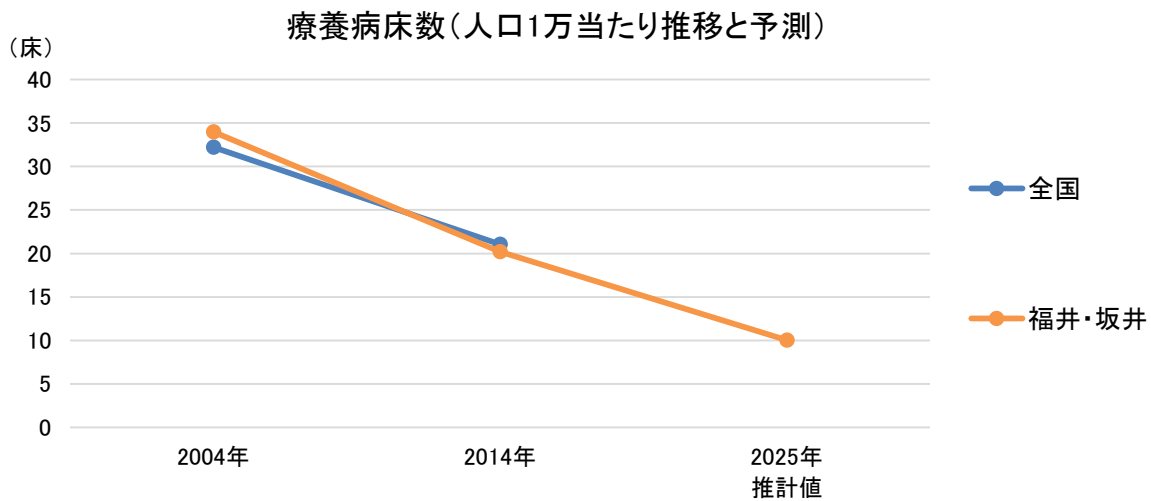
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5428床(人口1万人当たり131(全国平均84)偏差値67)であったが、2014年に4843床(人口1万人当たり120(全国平均78)偏差値65)と、585床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4200床(2025年の推計人口1万人当たり111)になることが予想される。



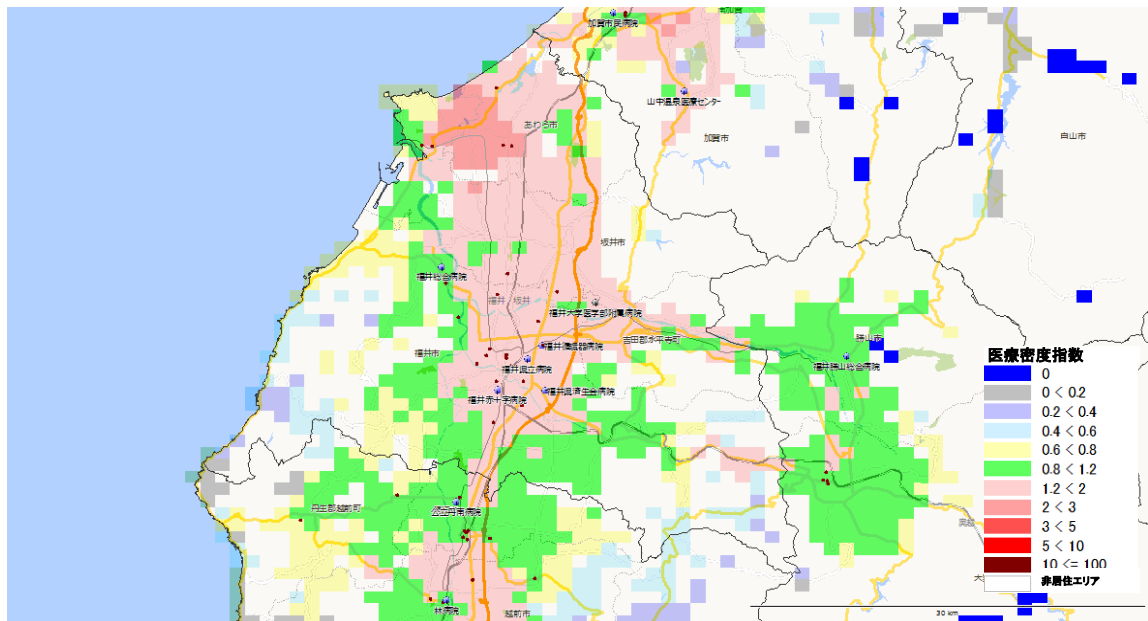
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1469床(75歳以上1000人当たり34(全国平均32)偏差値51)であったが、2014年に1119床(75歳以上1000人当たり20(全国平均21)偏差値49)と、350床の減少、率にして24%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には734床(2025年の推計75歳以上1000人当たり10)になることが予想される。



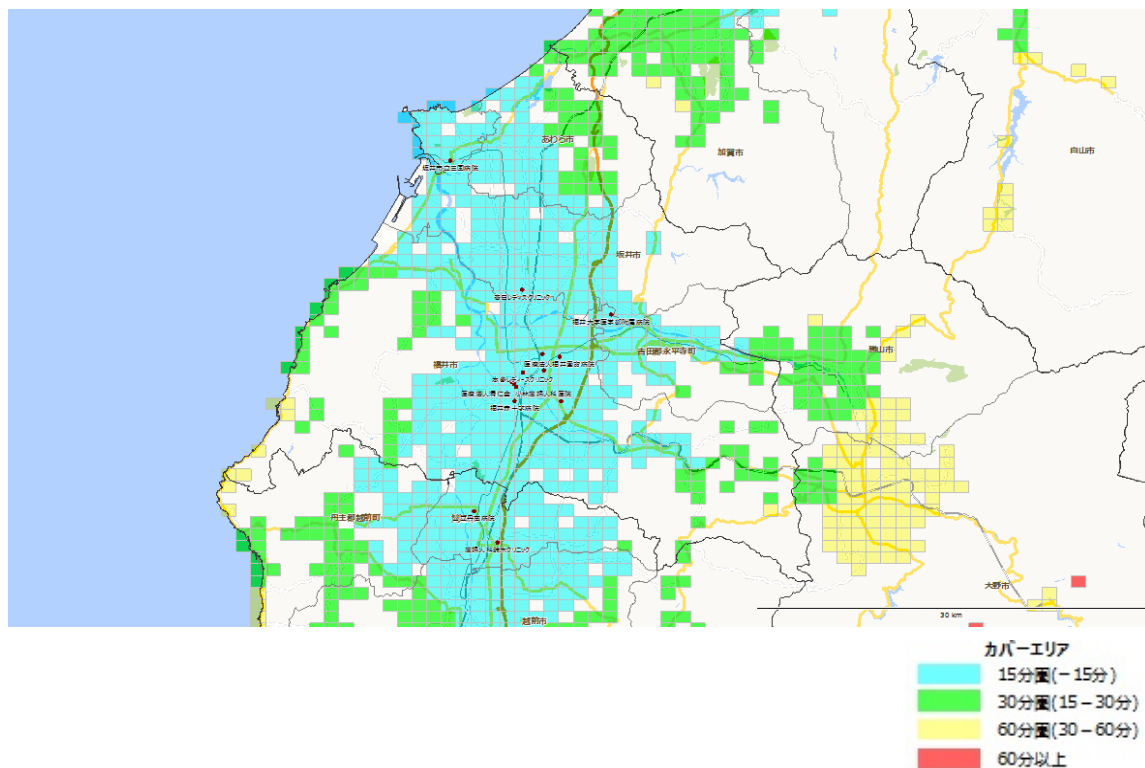
(福井・坂井医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表18-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表18-1-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



(奥越医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 奥越(大野市)は、総人口約57千人(2015年)、面積1126km²、人口密度は51人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 奥越の総人口は2025年に49千人へと減少し(2015年比-14%)、2040年に38千人へと減少する(2025年比-22%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の11千人が、2025年にかけて12千人へと増加し(2015年比+9%)、2040年には11千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 奥越の一人当たり医療費(国保)は399千円(偏差値62)、介護給付費は307千円(偏差値65)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 奥越の一人当たり急性期医療密度指数²は0.82、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.07で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が35(病院医師数36、診療所医師数38)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は40と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は36と少ない。奥越には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は49で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は39で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 奥越の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1072人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が906床(偏差値69)、高齢者住宅等が166床(偏差値33)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、842人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設70、特別養護老人ホーム62、介護療養型医療施設49、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム43、サ高住40である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は偏差値68と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、83人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+6%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(奥越医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

奥越医療圏の総人口は、2005年64804人が、2015年に57234人と12%減少し、2025年の人口が49295人と予測され、2005年→2025年の間に24%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて5%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

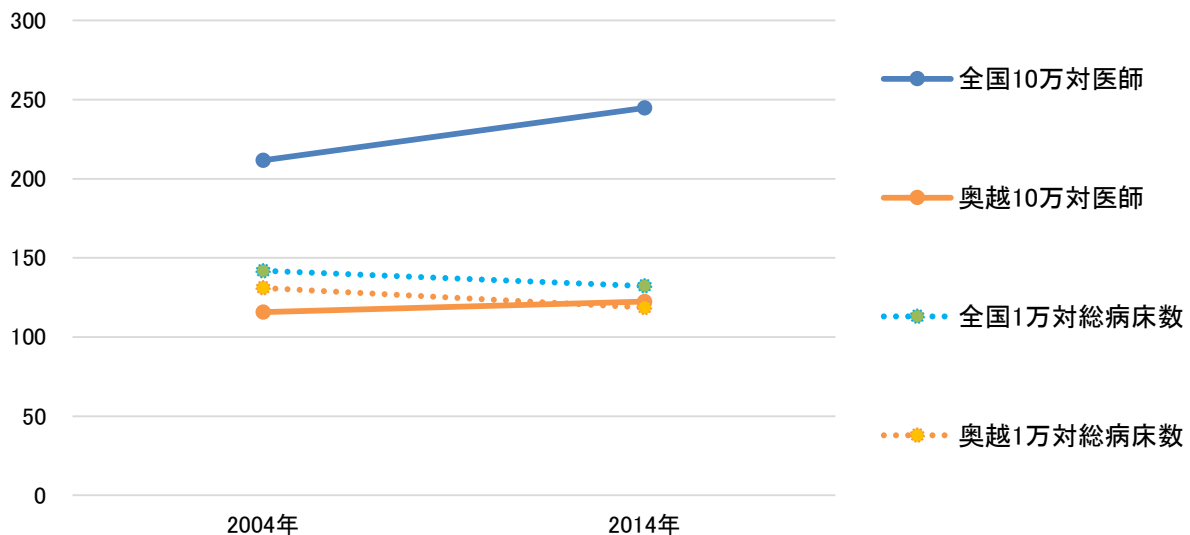
2004年の病院数が7(人口10万人当たり10.8病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2014年に6(人口10万人当たり10.5病院(全国平均6.7)偏差値59)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が38(人口10万人当たり59診療所(全国平均76)偏差値41)であったが、2014年に34(人口10万人当たり59診療所(全国平均79)偏差値40)と、4診療所が減少した。

2004年の総病床数が849床(人口1万人当たり131(全国平均142)偏差値48)であったが、2014年に679床(人口1万人当たり119(全国平均132)偏差値48)と、170床の減少、率にして20%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

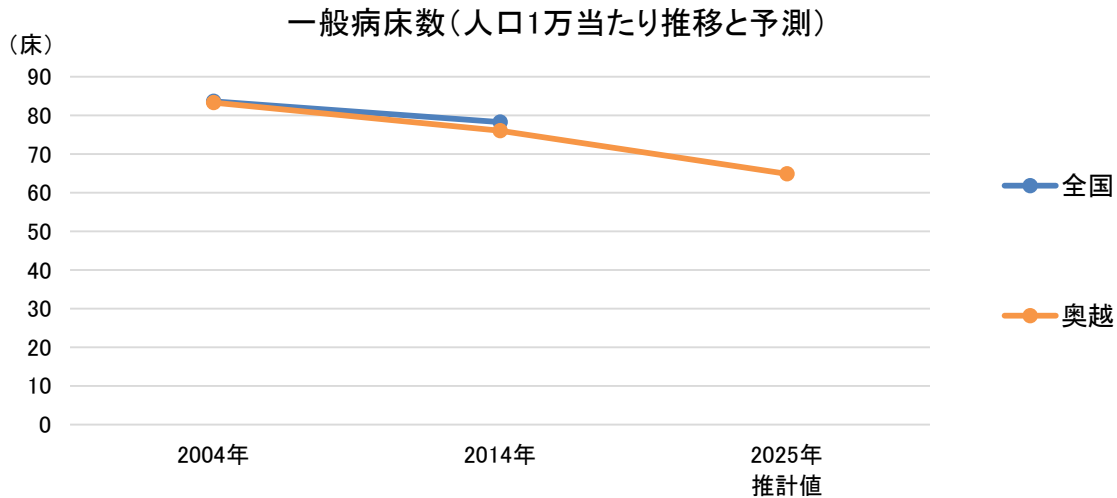
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が75人(人口10万人当たり116人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2014年に70人(人口10万人当たり122人(全国平均245人)偏差値37)と、5人の減少、率にして7%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



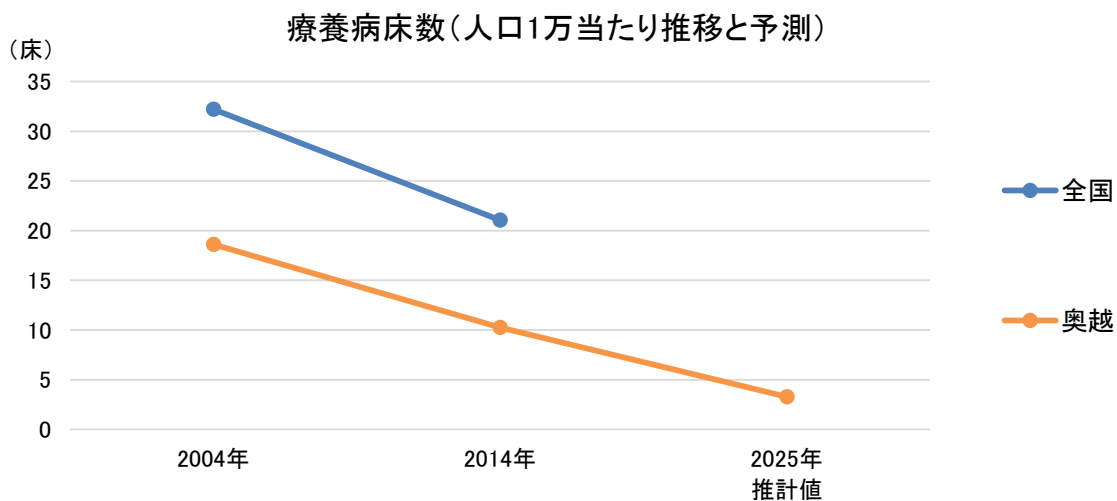
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が540床(人口1万人当たり83(全国平均84)偏差値50)であったが、2014年に435床(人口1万人当たり76(全国平均78)偏差値49)と、105床の減少、率にして19%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には320床(2025年の推計人口1万人当たり65)になることが予想される。



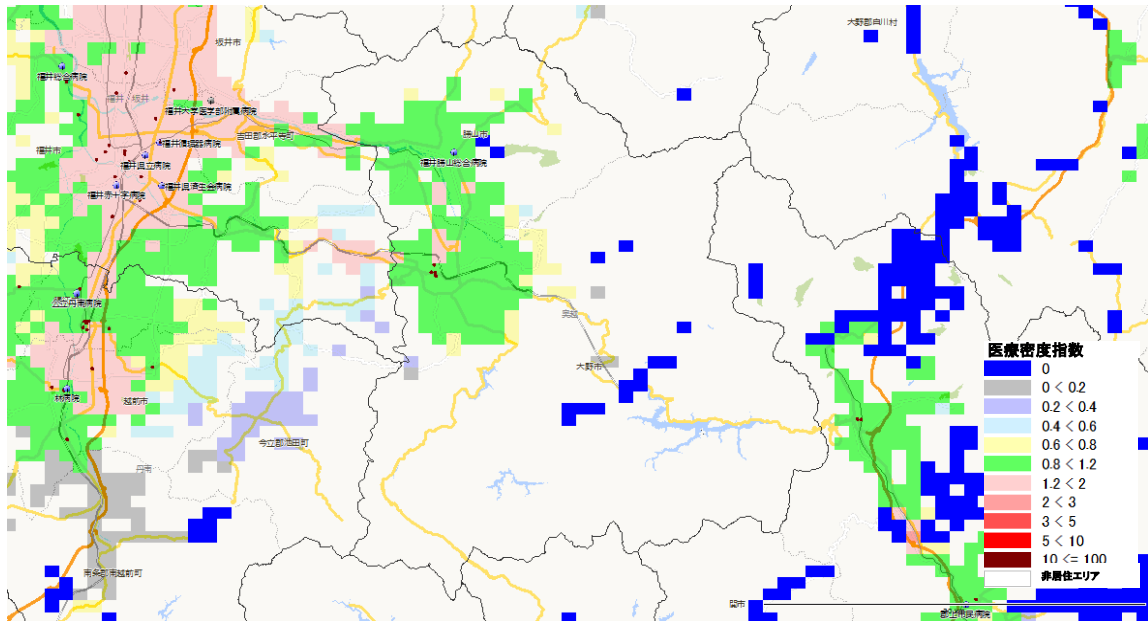
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が174床(75歳以上1000人当たり19(全国平均32)偏差値42)であったが、2014年に109床(75歳以上1000人当たり10(全国平均21)偏差値41)と、65床の減少、率にして37%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には38床(2025年の推計75歳以上1000人当たり3)になることが予想される。



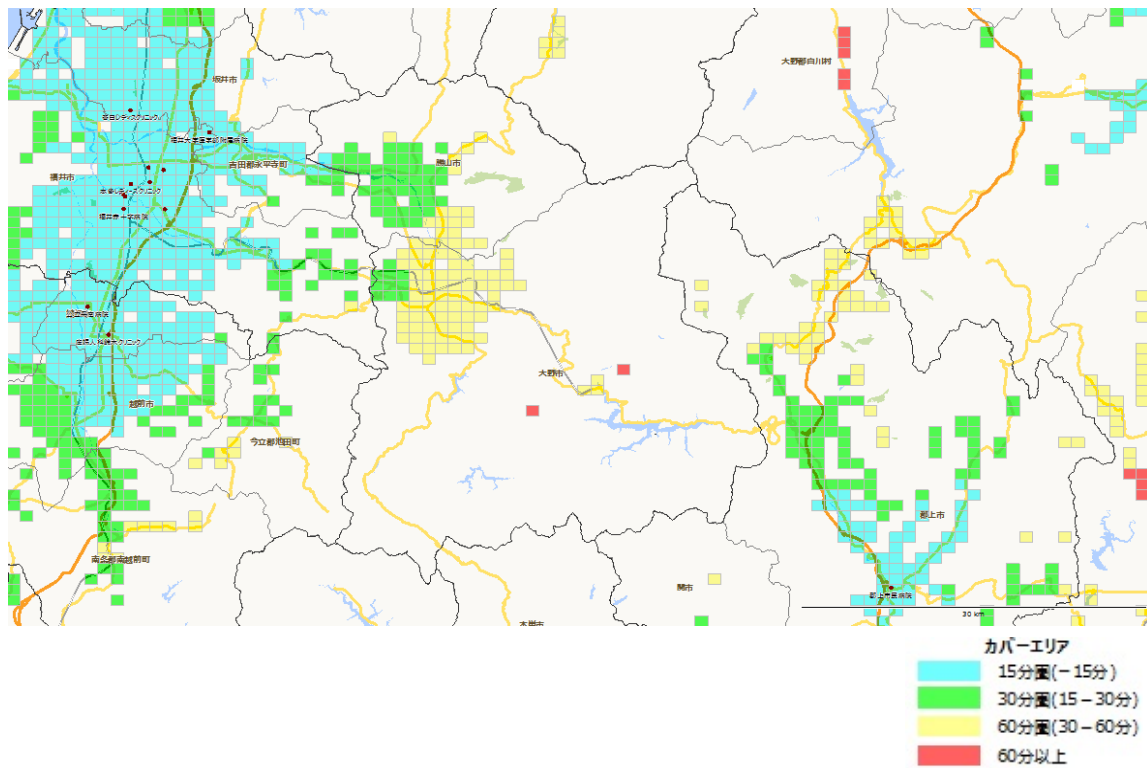
(奥越医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表18-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表18-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

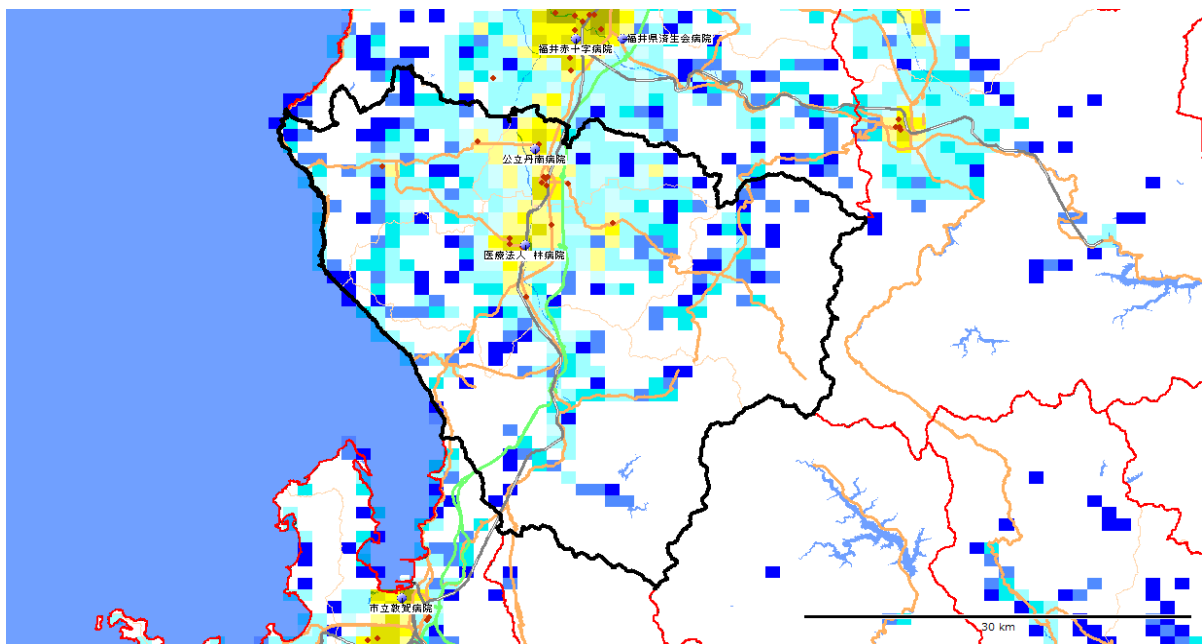
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



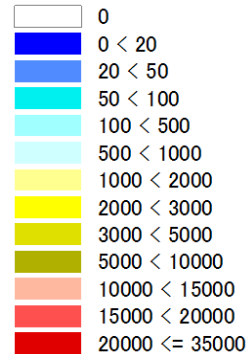
18-3. たんなん 丹南医療圏

構成市区町村⁹ [鯖江市](#) [越前市](#) [池田町](#) [南越前町](#)
[越前町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(丹南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 丹南(鯖江市)は、総人口約185千人(2015年)、面積1007km²、人口密度は184人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 丹南の総人口は2025年に175千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に153千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて33千人へと増加し(2015年比+22%)、2040年には34千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 丹南の一人当たり医療費(国保)は369千円(偏差値56)、介護給付費は277千円(偏差値57)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 丹南の一人当たり急性期医療密度指数²は0.93、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.84で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が36(病院医師数37、診療所医師数38)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は44と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は41で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は35と少ない。丹南には、年間全身麻酔件数が500例以上の公立丹南病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は56と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は39で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 丹南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2749人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1948床(偏差値60)、高齢者住宅等が801床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2300人(75歳以上1000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設62、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設60、有料老人ホーム42、軽費ホーム57、グループホーム44、サ高住48である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値57と多い。介護職員(在宅)の合計は、193人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-9%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(丹南医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

丹南医療圏の総人口は、2005年194247人が、2015年に184783人と5%減少し、2025年の人口が174588人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

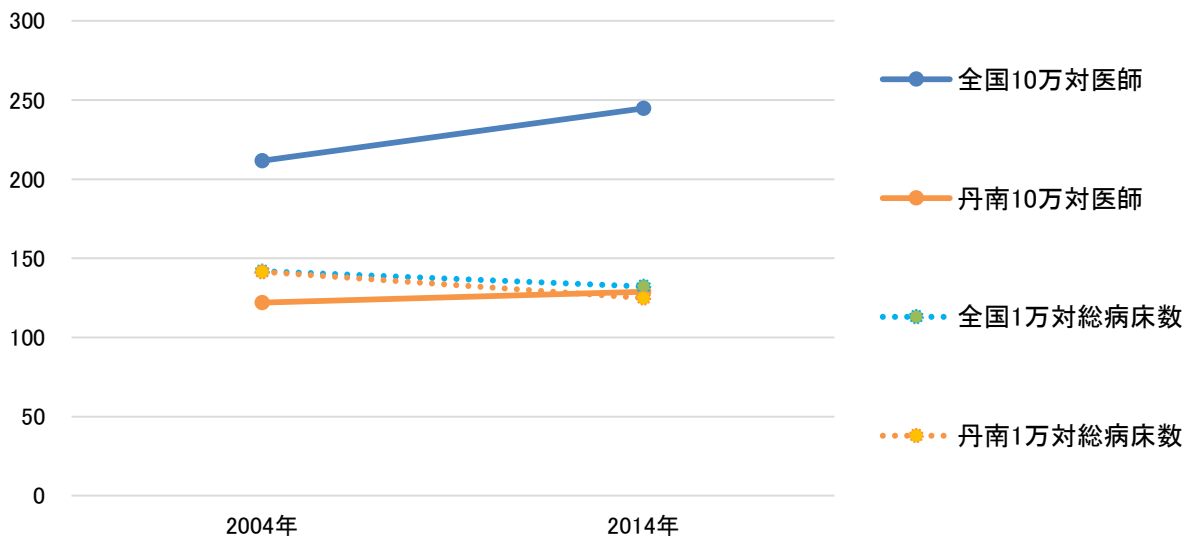
2004年の病院数が23(人口10万人当たり11.8病院(全国平均7.1)偏差値62)であったが、2014年に18(人口10万人当たり9.7病院(全国平均6.7)偏差値57)となり、10年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が110(人口10万人当たり57診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2014年に109(人口10万人当たり59診療所(全国平均79)偏差値39)と、1診療所が減少した。

2004年の総病床数が2748床(人口1万人当たり141(全国平均142)偏差値50)であったが、2014年に2308床(人口1万人当たり125(全国平均132)偏差値49)と、440床の減少、率にして16%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

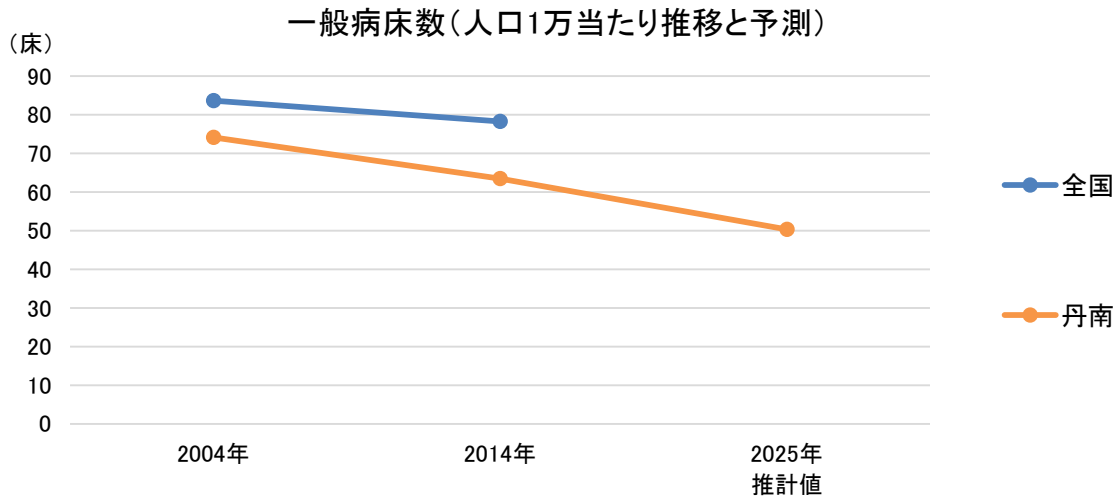
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が237人(人口10万人当たり122人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2014年に238人(人口10万人当たり129人(全国平均245人)偏差値38)と、1人の増加、率にして1%未満の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



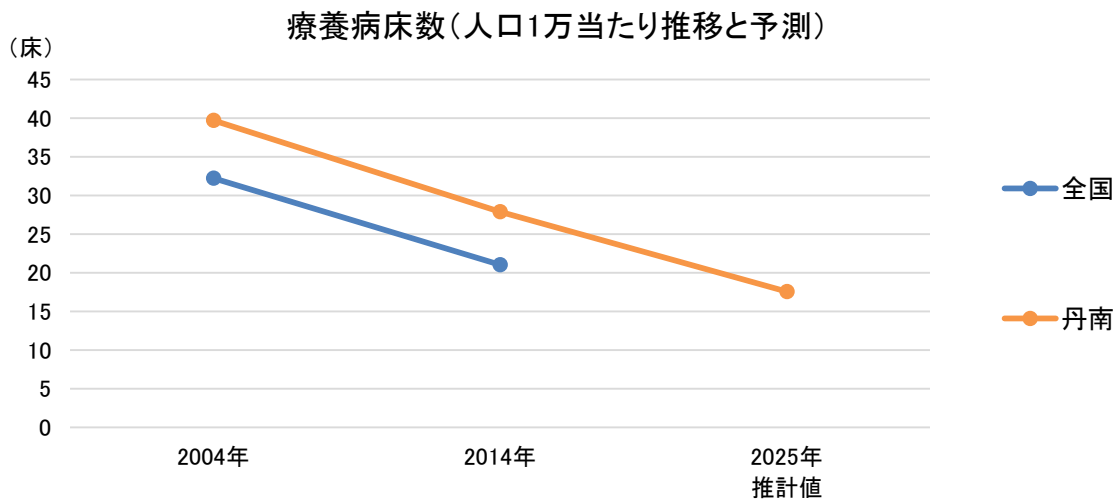
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1440床(人口1万人当たり74(全国平均84)偏差値47)であったが、2014年に1173床(人口1万人当たり63(全国平均78)偏差値45)と、267床の減少、率にして19%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には879床(2025年の推計人口1万人当たり50)になることが予想される。



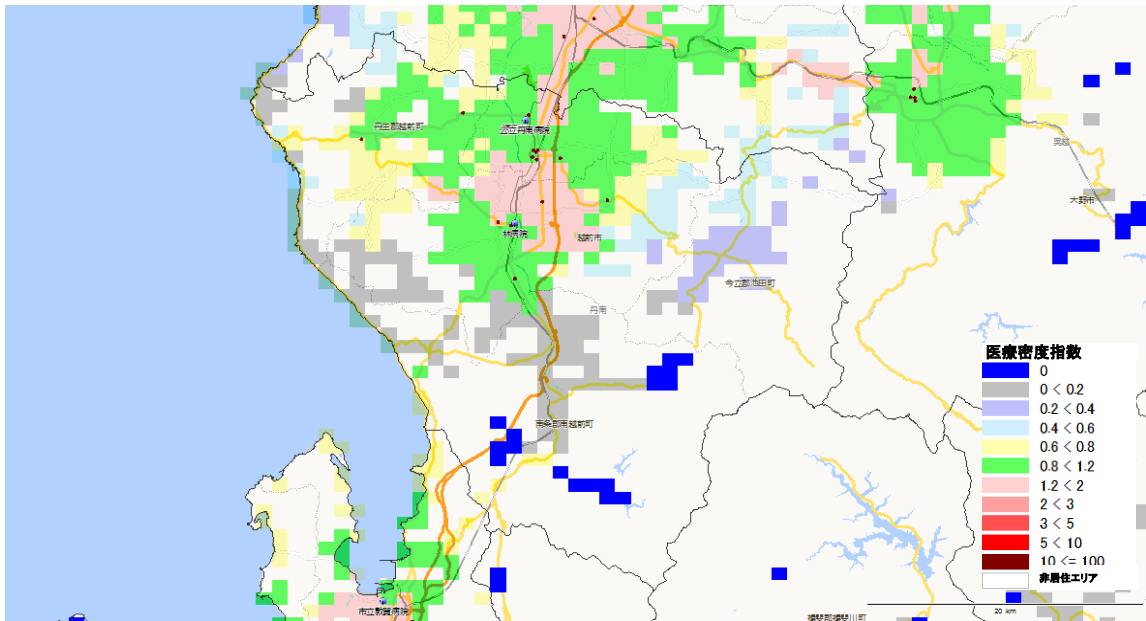
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が884床(75歳以上1000人当たり40(全国平均32)偏差値54)であったが、2014年に741床(75歳以上1000人当たり28(全国平均21)偏差値56)と、143床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には584床(2025年の推計75歳以上1000人当たり18)になることが予想される。



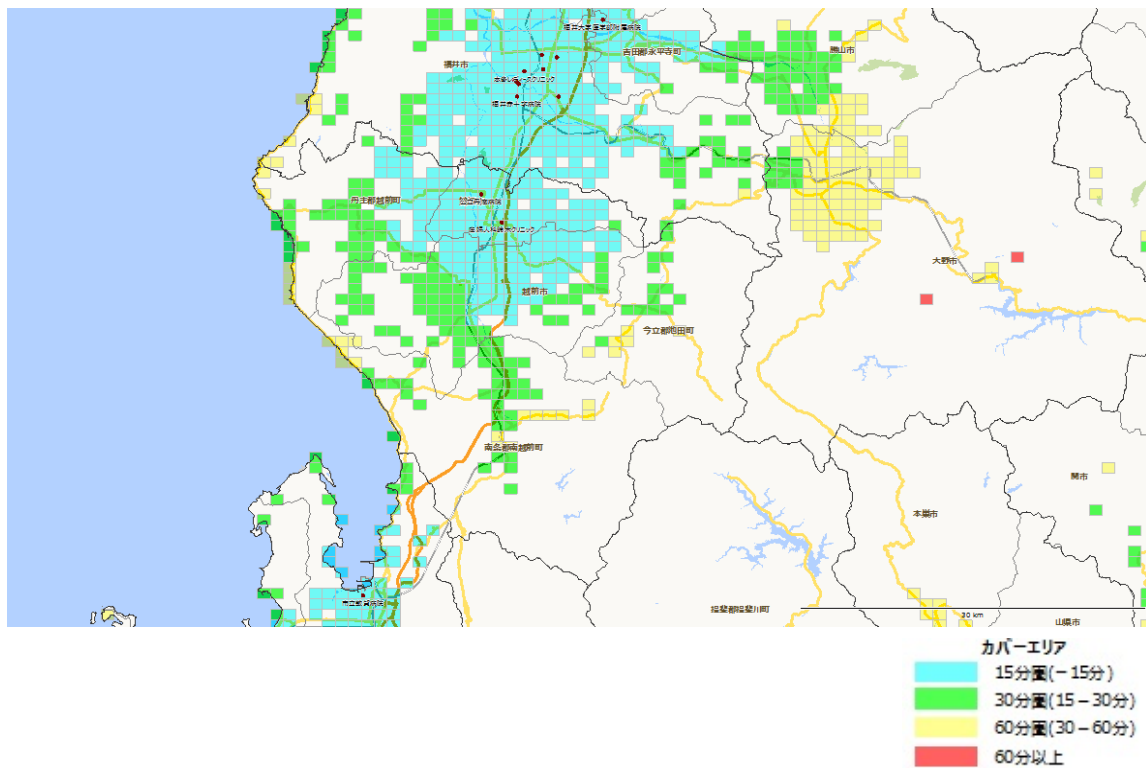
(丹南医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表18-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表18-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

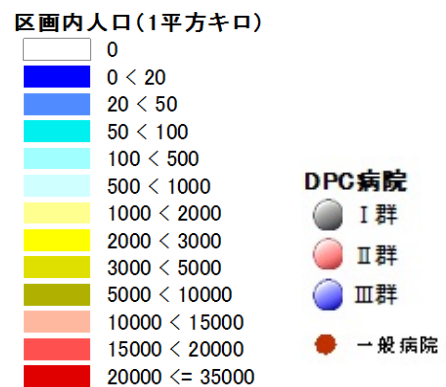
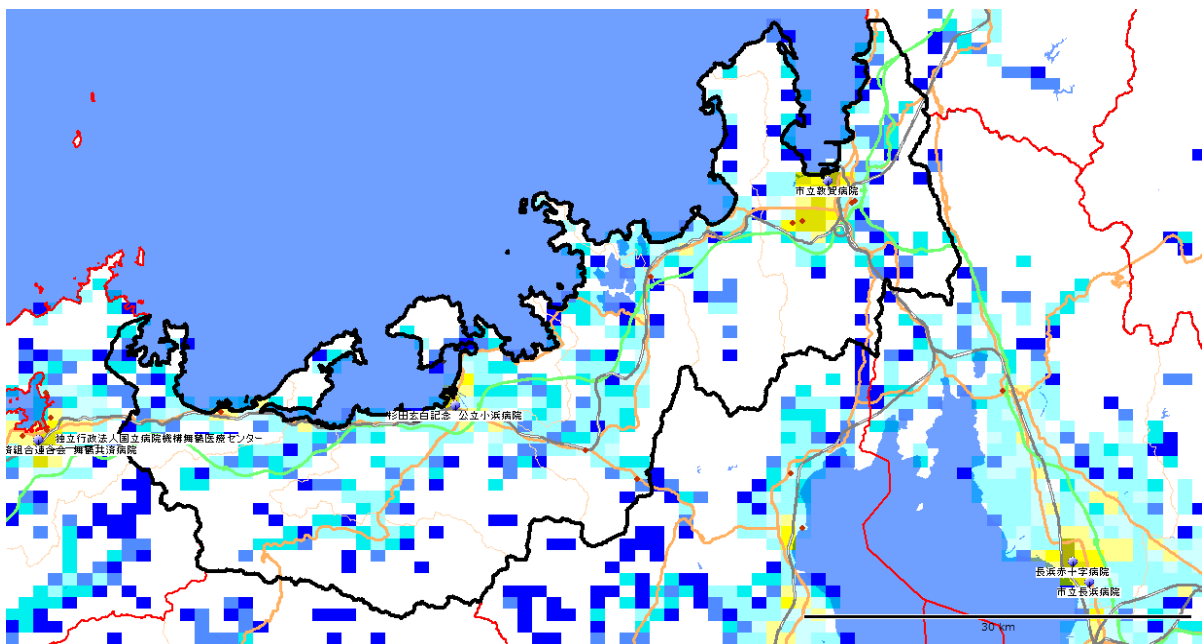
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



18-4. れいなん 嶺南医療圏

構成市区町村⁹ [敦賀市](#) [小浜市](#) [美浜町](#) [高浜町](#)
[おおい町](#) [若狭町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(嶺南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 嶺南(敦賀市)は、総人口約140千人(2015年)、面積1100km²、人口密度は127人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 嶺南の総人口は2025年に129千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に110千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の21千人が、2025年にかけて25千人へと増加し(2015年比+19%)、2040年には25千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 嶺南の一人当たり医療費(国保)は374千円(偏差値57)、介護給付費は289千円(偏差値60)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 嶺南の一人当たり急性期医療密度指数²は0.75、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.1で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が43(病院医師数45、診療所医師数40)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は51で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。嶺南には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は56と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値44と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 嶺南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1783人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1442床(偏差値55)、高齢者住宅等が341床(偏差値33)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1703人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設48、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム46、サ高住38である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値36と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値69と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、256人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-22%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(嶺南医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

嶺南医療圏の総人口は、2005年149234人が、2015年に139927人と6%減少し、2025年の人口が129212人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

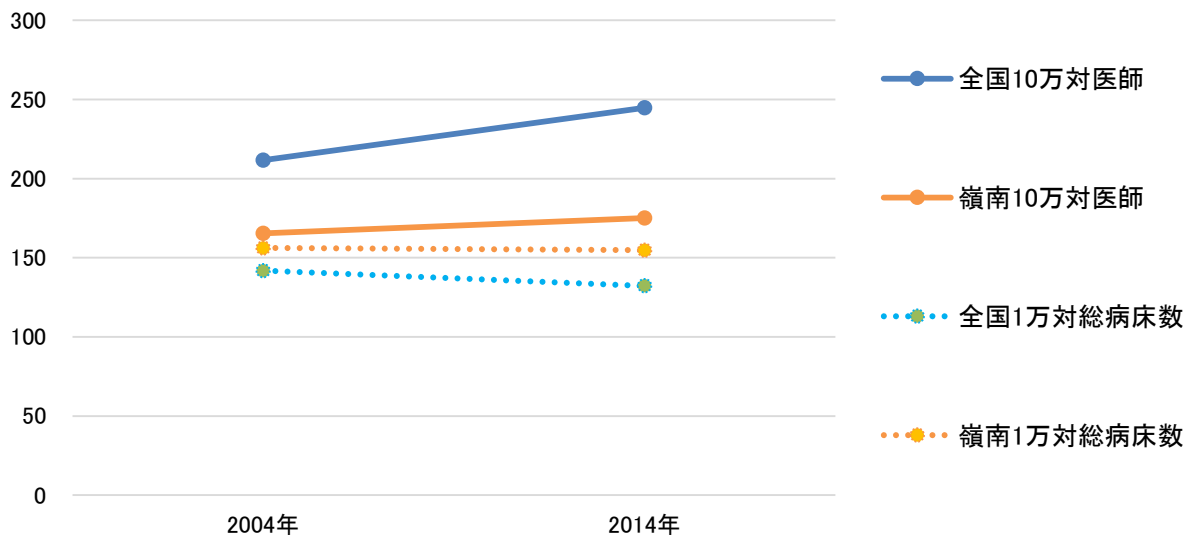
2004年の病院数が14(人口10万人当たり9.4病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2014年に11(人口10万人当たり7.9病院(全国平均6.7)偏差値53)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が100(人口10万人当たり67診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2014年に102(人口10万人当たり73診療所(全国平均79)偏差値47)と、2診療所が増加した。

2004年の総病床数が2331床(人口1万人当たり156(全国平均142)偏差値53)であったが、2014年に2166床(人口1万人当たり155(全国平均132)偏差値54)と、165床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

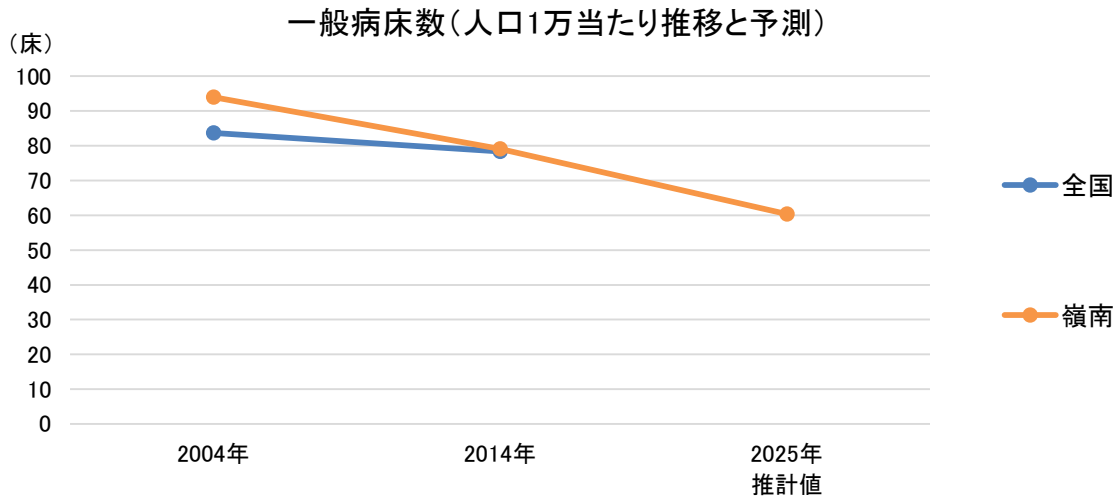
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が247人(人口10万人当たり166人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2014年に245人(人口10万人当たり175人(全国平均245人)偏差値43)と、2人の減少、率にして1%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



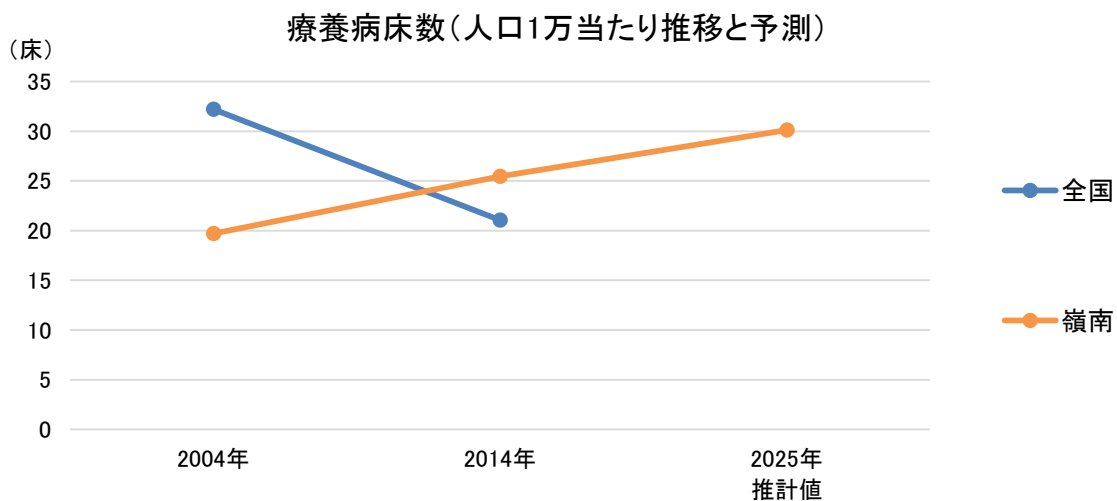
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1402床(人口1万人当たり94(全国平均84)偏差値54)であったが、2014年に1106床(人口1万人当たり79(全国平均78)偏差値50)と、296床の減少、率にして21%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には780床(2025年の推計人口1万人当たり60)になることが予想される。



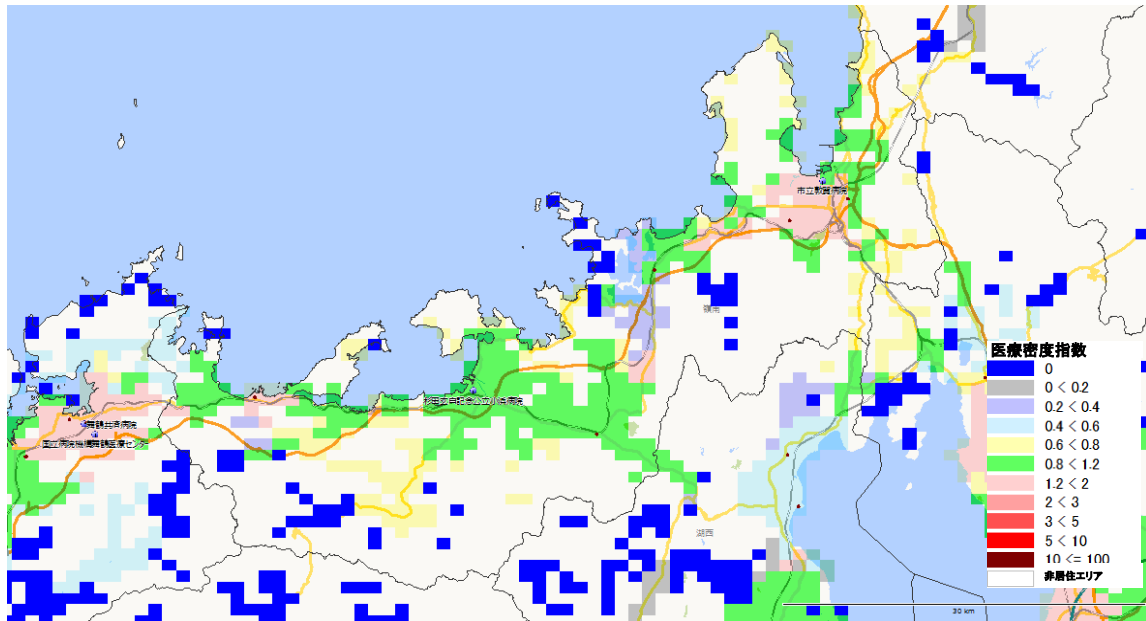
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が356床(75歳以上1000人当たり20(全国平均32)偏差値43)であったが、2014年に542床(75歳以上1000人当たり25(全国平均21)偏差値54)と、186床の増加、率にして52%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には747床(2025年の推計75歳以上1000人当たり30)になることが予想される。



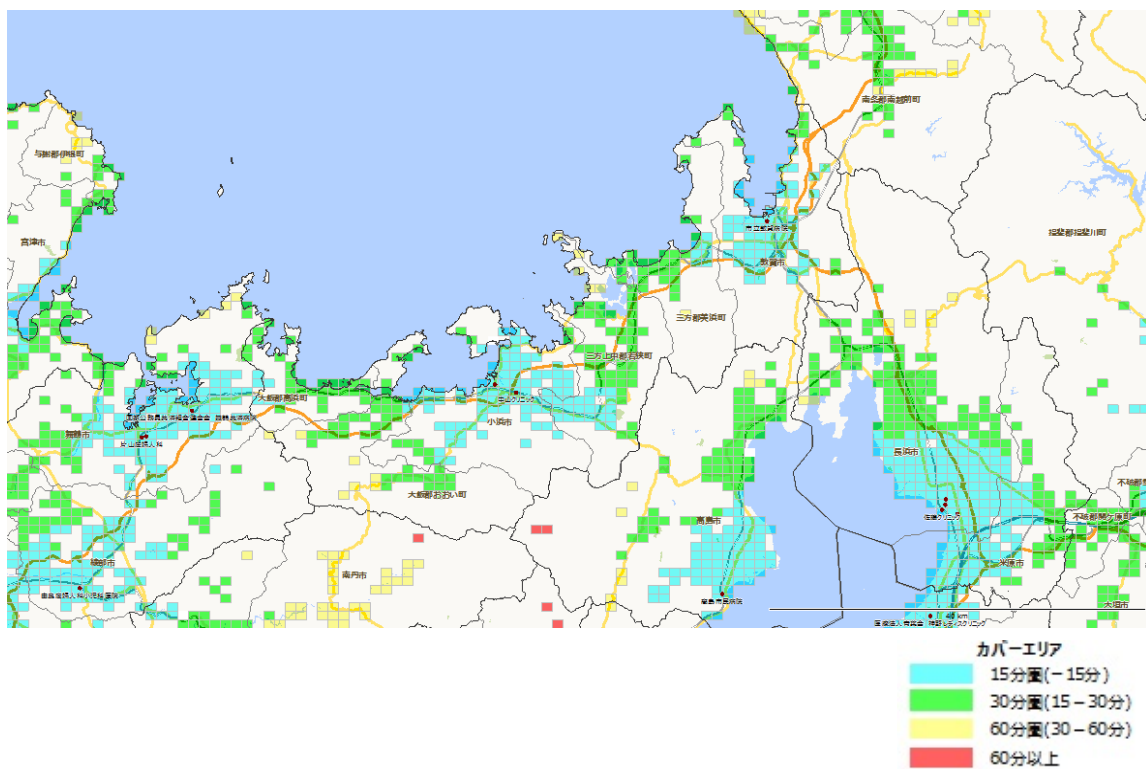
(嶺南医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表18-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表18-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



18.福井県(2017年版)

注

¹1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成27年病院報告(厚生労働省 平成27年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no.375「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集(2016年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷医療費は市町村国民健康保険のみ。複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

複数医療圏にまたがる広域連合の介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸医療需要は(0~64歳人口) + (65~74歳人口) × 3.1 + (75歳以上人口) × 5.0で算出。

⁹日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。